



富屋地区  
シンボルマーク

# みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

94号

2019 (令和元年)  
12月発行  
広報とみや

## 令和の空に響く歓声「ファイト!とみや2019」

9月15日(日)、好天に恵まれ、富屋小学校・富屋地区体育協会主催による「ファイト!とみや2019」が富屋小学校校庭において開催されました。小学校の運動会と地区体育祭が合わさった「ファイト!とみや」となって、今年で19回目となります。宇都宮市内においてこのような形で実施されている学校・地区はごく僅かであるようですが、合同で行うからこそそのよさがたくさんあります。そのよさを紹介していきたいと思います。

### ここがすごい!! 1 あらゆる世代が集います!!



小学1・2年生の玉入れに敬老者の方が参加し、地区対抗綱引きには中学生チームが参加しました。お昼には、徳次郎保育園の和太鼓、山王認定こども園のマーチングバンドが行われました。

### ここがすごい!! 2 子どもも大人も真剣です!!



小学生はこれまでの練習の成果を最大限に発揮しようと、大人は地区のために、そして子どもの頑張る姿に負けまいと持てる力を発揮しました。写真からも真剣さが伝わってきますね。

### ここがすごい!! 3 終わりのときにはみんな笑顔です!!



結果は、小学校の紅白対抗は優勝赤組、準優勝白組、地区対抗は、優勝西部、準優勝東部、3位下町。なお、運動会の終わった校庭にはごみが一つとして落ちていませんでした。すがすがしい気持ちになりました。

## 手作りバッグ

## 手作りの喜びを おすそ分け



物地でのリメイクにも興味があり、いくつか作りましたが、もっともっと素敵なお品にチャレンジしていきたいと思っています。

若いころからもの作りが好きでしたが、仕事や子育て孫育てなどで、なかなか時間が取れませんでした。2年ほど前から、それらがひと段落したのをきっかけに手作りを始めました。

でき上がった時の嬉しさ、喜びは格別です。はじめは自分で作って使うことが多かったのですが、この頃は、友達や親戚にプレゼントをして喜んでもらえるのが嬉しくて、また作ろうという気持ちになります。こんな幸せな時間が、私の健康法の一つにもなっています。

バッグは、パッチワークやクラフトを使ったもの、帯を使ったものや一貫張りなど様々な素材で作っています。最近では、着物地でのリメイクにも興味があり、いくつか作りましたが、もっともっと素敵なお品にチャレンジしていきたいと思っています。  
(上横倉町自治会 池田 知子)

## とみやふるさとまつり〈文化祭・農業祭・福祉まつり〉

11月3日(日)に、「とみやふるさとまつり」が開催されました。ふるさとまつり実行委員会の構成団体である、まちづくり連絡協議会、活力あるむらづくり推進協議会、市民センター文化祭実行委員会、社会福祉協議会の4者の連携協力のもと実施され、大いに賑わいました。



## 富屋に学ぶ子どもたち

○富屋特別支援学校 一人一人の自立と社会参加に向けて

校長 中田 誠

令和元年度、富屋特別支援学校は児童生徒数353名でスタートしました。昨年度は、創立40周年の節目を迎え、本年度は、これまでの歩みを振り返り、これからの10年を見据えて、新たな一步を踏み出す年と捉えております。

私たちは、家庭や地域、職場などの身近な社会の中で、自分のできる範囲で主体的に役割を分担し、足りないところを支援し合って生きています。できることは手持ちの力で取り組むけれど、できないことは周りの人に助けをもらう。自立とは、一般には自分でできるという意味ですが、自分と周りの人との間に互いに助け合う関係を築くことと考えることもできます。

本年度も、一人一人の自立と社会参加に向け、教職員一同、心を合わせて、児童生徒の自信（自分への信頼）を育み、「よし明日も頑張ろう！」という意欲を育てて参りたいと考えております。富屋小学校、晃陽中学校、まちづくり連絡協議会をはじめ、富屋地区の皆様には、今後とも一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。





## ふるさと再発見 ⑦④

## 晃陽中50周年と晃陽囃子



晃陽中は昭和45年4月に、富屋中と篠井中が合併して創立以来、今年で50周年の節目を迎えました。去る10月26日には同校体育館において、宇都宮市長を始め来賓多数をお迎えし、式典が盛大に行われました。式典では生徒会代表が司会を務め、その後の記念行事では「晃陽囃子」の演奏や合唱コンクール、文化祭（英語スピーチ・吹奏楽演奏）などが行われ、生徒主体の心のこもった、とても印象的な行事になりました。

特に「晃陽囃子」は50周年を記念して作られたオリジナル曲で、地元の演奏家伊藤伸吾さんが作曲したものです。2年生全員56人が去年の後半から練習を始め、主に昼休み時間を利用して練習に励んできました。祭り囃子は一般に笛、締め太鼓2、大胴、鉦の5人1組で演奏しますが、晃陽囃子ではこれらの人員に、笛10人余、青竹30人余が加わる大楽団となり、軽快なリズムの中にも華やかなお囃子を披露しました。(文化財調査員 池田 貞夫)

## 富屋地区敬老会

9月8日(日)に、富屋地区敬老会が、富屋地区市民センターにおいて開催され、243名の方が参加されました。

式典では、相羽仁司富屋地区社会福祉協議会会長の挨拶、75歳代表者への記念品贈呈、来賓祝辞が行われました。

式典に続きお楽しみ会が行われました。初めに富屋小学校6年生児童5名による民話語りです。地区内の地名を題材にした「大綱のいわれ」などの情感豊かな民話語り、誰もが聞き入りました。続いて矢野様、西満様、相場様、大毛様による民謡の調べが行われました。徳次郎節を懐かしそうに聞き入ったり、



歌に合わせて手拍子をしたり、合いの手を入れたりとなごやかで楽しい時間となりました。

## 秋晴れのもと、歩け歩け大会

10月20日(日)に、まちづくり連絡協議会・老人クラブ連絡協議会主催による「歩け歩け大会」が開催され、37名の方が参加されました。今回は、多藤神社(上横倉)、二宮堰、智賀都神社、徳次郎城跡等を見学する約6kmのコースを3時間かけて歩いてきました。参加された方に感想を伺いました。



「秋の山野草を見ながら歩くことができ、とても良かったです。」と、88歳の柿沼利久江さん。(写真左) 健脚でした。

「じいじとばあばと一緒に楽しかった。」と話してくれたのは、5歳で最年少参加の想来(そら)君。最後まで元気に歩き通しました。



## 祝叙勲 入江利長さん

～消防団活動を通じた安心・安全なまちづくりへの貢献が認められ～

令和元年の春の叙勲で、田中の入江利長さんが瑞宝単光章を受章されました。

入江さんは昭和48年に宇都宮消防団富屋分団に入団以来、39年間にわたり消防団活動に取り組まれてきました。その間、富屋分団長、宇都宮市消防団長、県消防協会長などの要職に就かれ、地域はもとより県・市の消防団活動のリーダーとしても活躍されました。この度の受章は、地域の消防の強化・充実に尽力され、安心・安全なまちづくりを推進してきた功績が認められての受章です。

入江さんは、「消防団活動は、より良いまちづくりの活動であると思って取り組んできた。富屋をより良い地域にするために、まずはみんなで仲良くやっぺ。仲良くすれば何でもできる。」と話されていました。入江利長さん、受章おめでとうございます。



### 富屋地区のデータ

(令和元年10月末現在)  
世帯数 1,643世帯  
総人口 3,700人  
男性 1,737人  
女性 1,963人

### 今後の主な事業計画

1月19日(日) 不法投棄監視パトロール  
まちづくり懇談会  
2月23日(日) 防災訓練  
地域(富屋)学講座

### ■ 編集・発行 ■

富屋地区まちづくり連絡協議会  
〒321-2116  
宇都宮市徳次郎町80番地2  
(富屋地区市民センター内)  
☎028-665-0002, 1663